

令和元年度

事業報告書

社会福祉法人 陽風会

社会福祉法人陽風会 事業報告

1. 法人理念

当法人は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重し、総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が個人の尊厳を保持しつつ自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援します。

また、社会福祉事業を確実、効率的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上及び事業経営の透明化を図り、もって地域福祉の推進に努めることとします。

2. 重点項目

利用者の高齢化が進んでいるなかで、質の高い高齢者福祉サービスを提供するため、医療との連携を密に行った。医師を派遣しても10分以内、病院への搬送でも10分以内の好立地を最大限に活かす病院との連携システムにより、医療的なサポート量の多い利用者の方でも受け入れが可能であり、安心できる体制作りを継続的に行っている。また、介護保険の理念に基づいて住み慣れた地域で、より適切なサービスを提供できるよう、地域団体（自治会・婦人会・老人会・民生委員等）の協力や行政、民間団体（病院・NPO・地域包括支援センター・介護施設・老人福祉センター等）との連携し、地域貢献に努めた。

また、平成31年度末より世界的流行となっている新型コロナウイルス感染症の対策について、協力医療機関との連携にて、協力体制を強化し、引き続き対応を継続している。

3. 取組と成果

(1) 新規事業・事業の休止について

今年度、那覇市より地域密着型サービス事業者の公募があり、当法人としても那覇市における社会福祉事業の推進のためにも、特別養護老人ホームへ応募することを検討、決定し、プロポーザル審査にて那覇市より陽風会が選定されたところではありましたが、近頃の地域福祉人材不足、それに伴う人件費の高騰、また、建築単価の高騰等によって地域密着型特別養護老人ホームの経営が非常に困難な状況となってきたことから、施設を増加させ、経営資源を分散することよりも、現在あるケアハウス常夏の島等をしっかりと運営していくことが必要ではないかとの検討をさせて頂いた結果、今回の選定を辞退することと致しました。

また、小規模多機能型ホーム牧志については、新型コロナウイルス感染症対策の一環として、医療施設からの退院後に、一定期間において発熱等が見受けられないかを観察する隔離施設として利用し、今後も当分の間これを継続するため、当分の間休止することと致しました。

(2) 規程等の整備

給与規程、就業規則等の是正改善を行いました。現場で働く職員にとってより理解しやすく条文表記を改め、将来設計ができ、安心して従事できるよう法人としてできる限りの内容を織り込んだものとし、改定致しました。また、その他の規程についても一部改訂するなど、誤認識がないよう、法改正等により是正改善が必要であるもの見直しを行い、整備を行いました。

(3) 情報公開について

各種の法人情報開示について、ホームページを新たに整備し、社会福祉医療機構以外からもアクセスし、閲覧できる環境を整えました。

4. 評議員会

- 令和元年5月30日(木) ①2018年度 計算書類等の件
②役員任期満了に伴う選出の件

5. 理事会(8回)

- 平成31年4月26日(金) ①地域密着型特別養護老人ホームへの公募の件
②地域密着型特別養護老人ホーム建設にかかる補正予算の件
- 令和元年5月14日(火) ①2018年度 計算書類等の件
②2018年度 事業報告の件
③評議員選任解任委員会への評議員候補者推薦の件
④評議員選任解任委員会開催の件
⑤役員任期満了に伴う推薦の件
⑥評議員会の日時・場所・招集通知発出日・提案議案について
- 令和元年5月30日(木) ①理事長の選任の件
②評議員選任解任委員会の委員の選任の件
- 令和元年8月30日(金) ①就業規則の改正の件
②給与規程の改正の件
- 令和元年10月18日(金) ①定款施行細則一部改訂の件
②就業規則一部改訂の件
③非常勤就業規則一部改訂の件
④給与規程一部改訂の件
⑤育児休業介護休業規程全面改訂の件
⑥旅費規程一部改訂の件
⑦公印取扱規程一部改訂の件
⑧講師謝礼金規程一部改訂の件
⑨特別養護老人ホーム前島 就業規則廃止の件
⑩特別養護老人ホーム前島 非常勤就業規則廃止の件

- ⑪特別養護老人ホーム前島 給与規程廃止の件
- ⑫特別養護老人ホーム前島 育児・介護休業規程廃止の件
- ⑬特別養護老人ホーム前島 旅費規程廃止の件
- 令和2年1月9日(木) ①地域密着型特別養護老人ホーム三原の件
- 令和2年3月20日(金) ①2019年度 補正予算の件
- ②2020年度 事業計画の件
- ③2020年度 予算の件
- ④給与規程別表改定の件
- 令和2年3月21日(土) ①小規模多機能事業牧志休止の件

6. 監事監査

- 令和元年5月13日(月) 評議員会への報告：令和元年5月30日
- 理事会への報告：令和元年5月14日
- 法人所轄庁への報告：令和元年6月30日

7. 評議員選任解任委員会

- 令和元年5月20日(月) ①評議員の選任について

《法人の概要》

平成18年 3月 社会福祉法人陽風会、那覇市牧志三丁目8番10号に開設

《事業の概要》

- 平成19年 4月 経費老人ホーム「ケアハウス常夏の島」を開設、運営する
- 平成20年 9月 小規模多機能型ホーム牧志を開設、運営する
- 平成21年 4月 那覇市末吉老人福祉センターの指定管理を受託、運営する
- 那覇市壺川老人福祉センターの指定管理を受託、運営する
- 那覇市辻老人憩の家の指定管理を受託、運営する
- 平成29年 6月 有料老人ホーム星の館を開設、運営する
- 平成30年 2月 特別養護老人ホーム前島を開設、運営する(指定は1月)
- 平成30年 4月 那覇市地域包括支援センター新都心 受託

ケアハウス 常夏の島

利用者 定員 50名

年間稼働率 92.1% (目標稼働率 95%)

平均介護度 2.99

1. サービス利用実績

(1) 月別利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用人数	50	51	50	51	49	50	50	50	49	50	49	50
入院者のべ日数	8	40	142	84	78	106	71	70	60	91	6	69
のべ利用日数	1468	1504	1313	1417	1396	1378	1453	1407	1427	1374	1347	1375
稼働率 (%)	97.9	97	87.5	91.4	90.1	91.9	93.7	93.8	92.1	88.6	92.9	88.7
入所	2	1	0	2	2	2	2	0	1	2	2	3
退所	0	1	1	4	1	2	0	2	1	3	2	3

(2) 利用者介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計人数	50	51	50	51	49	50	50	50	49	50	49	50
要支援1												
要支援2	1											
要介護1	8	8	8	7	6	6	5	5	5	5	5	4
要介護2	12	12	11	8	9	9	10	9	9	10	9	12
要介護3	14	14	15	18	18	18	17	18	20	20	20	19
要介護4	10	11	10	12	11	12	13	14	10	10	9	10
要介護5	5	6	6	6	5	5	5	4	5	5	6	5
申請中												
平均介護度	2.79	2.9	2.9	3.04	3	3.02	3.06	3.06	3.02	3	3.04	3

2. 施設運営状況

- (1) 稼働率について、6月・1月・3月に大幅に低下がみられました。入院日数が長くかかった利用者が多く、空床期間が1か月以上となる状況が発生したことや空床時での新規案内にて調整に時間がかかり過ぎている事が原因となり、目標達成ができませんでした。
- (2) 現場統括者を中心にする事で、多職種連携に努め、各種委員会等の会議をスムーズに開催・進行することができました。
- (3) 人材育成に力を入れ、個人で悩みを抱えないよう、適宜相談が行いやすい環境作りに努め、面談を行うこと等にて離職を抑え、職員の定着を図ることができました。
- (4) リスクマネジメントとして、感染症対策に力を入れ、積極的に研修を実施し、感染症予防を強

化、安心安全なサービスの提供に努めました。結果、インフルエンザ等感染症の発生はゼロに抑えることができました。

- (5) 入居案内や日々の生活状況の報告等、利用者や家族の方の権利を十分に尊重し、説明は丁寧で解り易い内容となるように心がけました。

3. 利用者支援状況

- (1) 季節行事にて、地域の老人センターの方々によるボランティアでの余興を取り入れ、地域の方々の「サークル活動の発表の場が欲しい」との希望を叶える場所の提供ができ、同時に施設利用者の地域との関わりが継続できる環境作りができました。
- (2) 身体介護のみならず、個別ケアにて、個人とのコミュニケーションを重視し、利用者のニーズにあった支援が行えるように心がけました。(担当者会議以外での多職種による面談等、個別での対応)
- (3) 褥瘡予防委員会を中心に、褥瘡予防・改善の強化に努め、退院後(入居時)に重度の褥瘡がみられた利用者の治癒の目標を実現することができました。
- (4) 協力医療機関(歯科)との連携を密に行い、利用者の口腔機能向上・肺炎予防に努めました。

4. 行事・レクリエーション

	行事		行事
4月	外出支援	10月	おやつ会(ヒラヤーチー)
5月	父の日・母の日会	11月	誕生会(10・11・12月生)
6月	誕生会(4・5・6月生)	12月	クリスマス会
7月	七夕夏まつり	1月	おやつ会&ゲーム大会
8月	誕生会(7・8・9月生)	2月	誕生会(1・2・3月生)
9月	敬老会	3月	ひなまつり

5. 職員研修

	研修内容		
4月	感染症について		
5月	認知症・認知症ケアについて		
6月	(消防訓練)		
7月	権利擁護・虐待・身体拘束について		
8月	急変時の対応について		
9月	接遇について		
10月	褥瘡対策について		
11月	おむつ交換について		
12月			
1月	感染症について		
2月	(消防訓練)		
3月			

小規模多機能型ホーム 牧志

利用者 平均登録人数 12.7 人

平均介護度 2.63

1. サービス利用実績

(1) 月間利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録人数	14	13	12	13	12	13	13	13	13	12	12	
通所のべ人数	296	295	272	321	288	297	308	308	262	242	172	
宿泊のべ人数	50	48	48	74	77	74	81	74	54	49	42	
訪問のべ人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(2) 利用者介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録人数	14	13	12	13	12	13	13	13	13	12	12	
要介護1	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
要介護2	6	4	3	4	3	3	3	4	4	4	4	
要介護3	1	1	1	1	1	2	3	3	3	2	3	
要介護4	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	1	
要介護5	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	
平均介護度	2.78	2.76	2.83	2.76	2.83	2.84	2.69	2.07	2.53	2.5	2.41	

2. 施設運営状況

(1) 令和2年2月末の登録者数は12名、平均介護度は2.63。在宅の方が6名、老人ホームから通う方も6名。在宅の方を増やしていきたいところでしたが、希望されていた方がエリア外にお住まいで送迎が難しい、などでなかなか登録に繋がらなかったというのが現状です。訪問は要望が無いのでゼロの状態が続きました。

また老人ホーム等の入居者が医療施設を退院後、新型コロナウイルスに感染していないかを確認する期間中、隔離施設として一時的に利用するために、当分の間休止することと致しました。

(2) 運営推進会議を年6回開き、行政、利用者及びご家族、知見者を交えて運営状況の報告、情報・意見交換を行っています。

(3) 毎月内部研修を行い、事業所・個人の目標を設定し、振り返りまで行うことで職員の資質向上に取

り組んでいます。

- (4) 職員会議も毎月開催し、情報の共有、ケアの統一、業務の見直しを行っています。
- (5) 年に1回外部評価を実施し、自己評価を行ったうえで、職員全員がステップアップを目指しながら質の向上に取り組みました。
- (6) 防災訓練を6月28日と2月4日に実施しました。

3. 利用者支援状況

- (1) ケアマネージャーが中心となり、利用者様のケアを職員全員が統一して、適切な介護が提供できるように努めました。
- (2) 急な宿泊希望の可能な限り受け入れ、ご家族の介護負担の軽減に取り組みました。
- (3) 利用者様の誕生日会や、季節ごとにイベントを開催し、利用者様に楽しんでもらいました。
- (4) フラダンスサークル、ウクレレ演奏のボランティアの方に定期的に来て頂きました。

4. 行事・レクリエーション

	行事		行事
4月	誕生日会	10月	誕生日会
5月	母の日・父の日 誕生日会	11月	誕生日会
6月	誕生日会	12月	クリスマス
7月	七夕	1月	初詣 誕生日会
8月	誕生日会	2月	節分
9月	敬老会・誕生日会	3月	誕生日会 浜下り

5. 職員研修

	研修内容
4月	急変時の対応について
5月	業務への取り組み方
6月	高齢者特有の病気について
7月	リハビリテーションについて
8月	介護技術について
9月	レクリエーションについて
10月	利用者とのコミュニケーション
11月	高齢者虐待について
12月	感染症について
1月	身体拘束について
2月	認知症について
3月	1年を振り返る

那覇市地域包括支援センター新都心

新都心地区

総人口 15,157人 (内) 65歳以上 1,956人

高齢化率 12.9%

1. 総評

地域に住まわれる65歳以上の高齢者の把握や支援を行い、介護予防・認知症予防周知活動を行いました。比較的新都心地域は、若い世代や元気な方が多く65歳以上の高齢者でも働いている方が多い。高齢者の把握・支援を行うにしてもマンションのオートロックが多く、訪問を受け入れて頂けない事が多い。その為、若い世代に介護予防と認知症について教育を行う方向で勧めた。銘苅小学校児童クラブにて認知症サポーター養成講座を行い、認知症について学んで頂くなど、新都心地域の特性を活かし、今後の介護・認知症予防の普及・啓発を行った。子供から両親へ、両親から祖父母へと広げていく活動を指導した。

2. 重点実施事項の取組と成果

(1) 介護予防把握事業

① 単身高齢者への個別訪問を行い、チェックリスト実施し対象であれば総合事業への促しや、自宅近くへのふれデイ、教室への誘導を行った。R2.1月頃よりコロナウイルス流行があり、訪問は感染予防のため控えていた。昨年より実施回数は減少している。

② 総合事業の団体周知を企業や集会に参加するなどして、周知を行った。

(2) 介護予防普及啓発事業

がんじゅう教室、認知症特化型教室、介護予防講話を実施し、参加者は同じ顔ぶれが多く、新規の参加者の獲得や周知が必要と感じた。利用者同士が教室を通して知り合いになり、プライベートでのグループができ、それぞれ活動する事が出来た。

(3) 地域介護予防活動支援事業

今年度の自主サークル立ち上げは出来なかった。前回からのサークルを継続支援を行っている。

(4) 見守りネットワーク事業

支援台帳に追加するが、特に支援が頻回訪問による支援の必要性はなく半年や1年に1回状況を確認している。支援台帳の整理を行い対象者の確認を行う必要がある。

(5) 地域ケア会議（包括開催）

①日常生活圏域ケア会議（協議体）がコロナウイルスの感染予防のため、ノルマの回数が実施できなかった。会議内容としては地域の若い世代や企業等と地域のために若い世代で出来る事を行う方向性で進めている。委託期間の残りの3年で行えるように計画を立てている。

②個別事例検討会議が少ないが、委託先が少なく包括内のプランナーとの個別事例検討会議を行っているが、プランナーとの検討会議は実績とならない為、回数が少ない。

(6) 包括的支援事業

ケアマネジャーの後方支援が、包括新都心単独では行えていない。委託先居宅の協力も必要なため、今後は実施できるように環境を整える。

(7) 認知症総合支援事業

各ノルマ達成している。認知症カフェについては認知症の本人や家族の参加は、ほぼない状態。周知と認知症予防を中心に展開している。認知症カフェを開催させて頂いたカフェが閉店してしまうため、来年度は包括新都心で開催する予定。認知所カフェもコロナウィルス感染予防のため、中止している。

(8) 生活支援体制整備事業

まちづくり協議体等の集まりに参加し、自治会や企業等とネットワーク構築に努めている。

(9) その他・センター独自の活動

包括新都心前のかりゆし公園にて夕方5時半よりラジオ体操やがんじゅう体操を実施。地域の高齢者や子どもが参加している。小さなコミュニティーが出来ている。

(10) 別紙にて包括新都心計画・実施表を添付する。

令和元年度地域包括支援センター年間報告

実績
予定

那覇市地域包括支援センター(新都心)

業務内容	目標回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	備考
(1) 地域包括支援センター運営等会議															
①センター連絡会議	12回	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	12	12
②包括支援センター内会議		2 2	2 2	2 2	2 2	2 2	2 2	2 2	2 2	2 2	2 2	2 2	2 2	24	24
③法人との連絡会議等		1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	12	12
(2) 介護予防把握事業															
①総合事業対象者把握(個別)	実人数 200人(3000人以上) 160人(3000人未満)	25 20	19 15	2 15	9 10	9 10	14 10	7 30	6 10	3 10	12 10	13 10	1 10	120	160
②総合事業 団体周知	(団体)10件	2 1	2 1	1 1	3 1	0 1	0 1	1 1	0 1	0 1	0 1	1 0	0 0	10	10
(3) 介護予防普及啓発事業															
①がんじゅう教室	2クール以上 (延12回以上: 1回あたり10人以上)	0	0	4 4	2 2	0	2	4	0	0	0	0	0	12	12
②認知症特化型教室	1クール以上 (延2回以上: 1回あたり10人以上)	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	2
③介護予防教室		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
④介護予防講話 (講演会・相談会・イベント等)	20回以上 (3,000人未満: 15回以上)	4 3	3 1	0 1	4 1	0 1	0 1	0 2	1 1	2 1	2 1	0 1	0 1	16	15
(4) 地域介護予防活動支援事業															
①自主サークルへの支援		6 2	4 2	1 2	0 2	2 2	1 2	1 2	1 2	0 2	0 2	0 2	0 2	16	24
②自主サークル立ち上げへの支援		7	4	6	6 1	5	6	6	5	6	5 1	5	0	61	2
(5) 見守りネットワーク事業															
①地区概況把握、作成	年度始め	1 1												1	1
②個別支援(要援護者)台帳整理	随時 4月末提出	1 1												1	1
③地区概況、事業実施評価	年度末に評価 4月末提出	1 1												1	1
④相談協力員連絡会	10回以上/年	1 1	1 1	1 1	0 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	0 1	0 1	0 1	8	12
⑤相談協力員訪問支援 (年度当初 相談協力員 5人)		0 10	0 10	0 10	0 10	4 10	1 10	2 10	3 10	0 10	0 10	0 10	0 10	10	120
(6) 地域ケア会議(包括開催)															
①地域ケアマネジメント支援会議	4回	0	0	0 1	1	0	1	0	0	1 1	0	1	0	4	4
②日常生活圏域ケア会議(協議体)	4回 (うち協議体2回)	1 1	0	1 1	0	0	0	0	0	0 1	0	1	0	3	4
③総合事業サービス検討会議	1回/月	2 1	2 1	1 1	1 1	1 1	0 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	0 1	12	12
④個別事例検討会議		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	

令和元年度地域包括支援センター年間報告

実績
予定

那覇市地域包括支援センター(新都心)

業務内容	目標回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	備考
(7) 包括的支援事業															
①総合相談支援業務															
訪問(新規ケース)		31 20	23 20	3 20	14 20	11 20	4 20	8 20	20 20	2 20	2 20	13 20	5 20	136 240	
訪問(年度当初継続支援ケース 人)		21 7	20 7	12 7	9 7	19 7	12 7	13 7	12 7	4 7	2 7	3 7	4 7	131 84	
②権利擁護業務															
地域広報:虐待に関すること(主催、招聘問わず、再掲可)	1回以上	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
地域広報:虐待以外に関すること(主催、招聘問わず、再掲可)	2回以上	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3	2
③包括的・継続的ケアマネジメント支援業務															
研修会(単独開催)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
研修会(包括合同開催)		0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	2
事例検討会(単独開催)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
事例検討会(包括合同開催)		0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	2
個別指導・相談件数		3 1	2 1	1 1	0 1	1 1	0 1	1 1	2 1	1 1	0 1	0 1	1 1	12 12	
(8) 認知症総合支援事業															
①認知症カフェ開催(定例)	1回以上/月	1 1	0 1	1 1	1 1	0 1	0 1	9 12							
②認知症施策の周知(団体)(SOS、ケアパス、初期集中等含めて)	20件以上/年	1 1	4 2	2 2	3 2	1 2	1 2	3 2	0 2	3 2	2 1	0 1	0 1	20 20	
★②ケアパス等(周知ツール)の見直し							1								
③認知症家族向け介護教室	1クール以上(延2回以上:1回あたり10人以上)	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	2
④初期集中支援チーム(会議・訪問)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑤他職種への研修会開催(ライフサポート研修)	(安里・新都心・安謝・泊・若狭・城岳・かなぐすく・小塚・高良)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1
⑥認知症サポーター養成講座(学校、PTA等での開催)	1回以上	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	3	1
⑦高齢者搜索模擬訓練(10月以降。時期・地区未定)	市全体で1回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
(9) 生活支援体制整備事業															
①高齢者の生活実態等の把握とまとめ	1回/月以上	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	0 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	0 1	10 12	
②生活圏域の社会資源の把握と一覧の追加作業	2回/年度	0	0	0	4	1	1	0	0	0	0	0	2	8	2
③生活圏域の関係機関等とのネットワーク構築または連携のリスト作成完成		2 1	2 1	3 1	2 1	0 1	0 1	2 1	3 1	1 1	5 1	5 1	3 1	28 12	
④生活圏域の介護予防・生活支援のサービス創設に向けて取り組む	1つ以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
(10) その他・センター独自の活動															
夕方ラジオ体操、公園愛護		20 20	240 240												
銘苅小学校区まちづくり協議会		1 1	1 1	1 1	1 2	1 2	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	0 1	0 1	10 12	

特別養護老人ホーム 前島

利用者 定員 29名

年間稼働率 92.7% (目標稼働率 95%)

平均介護度 3.68

1. サービス利用実績

(1) 月別利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用人数	30	29	31	30	29	29	29	29	30	30	29	29
入院者のべ日数	13	40	33	106	67	43	43	77	134	55	37	35
のべ利用日数	839	858	819	793	832	827	856	793	752	806	795	864
稼働率 (%)	96.4	95.4	94.1	88.2	92.5	95	95.2	91.1	83.6	89.7	94.5	96.1
入所	1	1	2	1	0	0	0	1	1	2	1	0
退所	2	0	2	1	0	0	1	0	2	2	0	0

(2) 利用者介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計人数	30	29	31	30	29	29	29	29	30	30	29	29
要支援1												
要支援2												
要介護1												
要介護2				1	1	1	1				1	1
要介護3	12	14	15	14	14	14	15	13	14	14	12	9
要介護4	12	9	10	10	10	10	9	11	11	11	12	14
要介護5	6	6	6	5	4	4	4	5	5	5	4	5
申請中												
平均介護度	3.8	3.72	3.71	3.63	3.59	3.59	3.55	3.72	3.7	3.7	3.66	3.79

2. 施設運営状況

- (1) 稼働率については、多職種連携にて、迅速な入所対応が行えたが、7月・11月・12月に体調不良による入院者が多く、稼働率の低下がみられ、目標に達することはできなかった。
- (2) 運営推進会議にて地域の情報交換を行いながら、地域ニーズの把握に努め、施設も地域にとって活用できる場所となるよう努めました。
- (3) 開設後、初めての指導監査や実施指導にて、指摘事項等への改善に取り組み、記録内容や方法について見直し、サービス向上のため自己評価の実施等にて改善に努めました。

- (4) 内部研修や外部研修への積極的な参加、個々人の目標設定を行い、フィードバックすることで、職員の資質向上に取り組みました。

3. 利用者支援状況

- (1) ケアマネジャーを中心に、多職種連携を図り、入居者個々のケアについて検討し、適切な介護や機能訓練等を実践できるよう努めました。また、利用者や家族の方への説明は丁寧で解り易い内容となるように心がけました。
- (2) 身体拘束の廃止について、委員会を中心に毎月検討できる機会を設け、安全を確保しながら、利用者が個人の尊厳を保持しつつ自立した生活を営むことができるように支援に努めました。
- (3) 感染症対策について、日常的に標準予防対策を強化し、研修により知識を深め、全職員が一丸となって取り組み、利用者や家族からの理解も得られ、感染症の発生はありませんでした。
- (4) 四季折々の行事やレクリエーションが楽しめるように、施設内の装飾にこだわり、季節を感じて頂ける様に環境作りにも取り組みました。また、感染予防対策にて、外出が困難になった際には、施設内でのレクリエーションを工夫するなどして対応しました。

4. 行事・レクリエーション

	行事		行事
4月	おやつ会（ソーキ汁）	10月	ハロウィンパーティー
5月	母の日&こいのぼり会	11月	運動会
6月	父の日&誕生会（4～6月）	12月	クリスマス&誕生会（10～12月）
7月	七夕会	1月	初詣、新春お茶会
8月	夏祭り	2月	おやつ会（バレンタイン）
9月	敬老会&誕生会（7～9月）	3月	誕生会（1～3月）

5. 職員研修

	研修内容		
4月	認知症及び認知症ケアについて		
5月	職務倫理、個人情報保護、口腔ケア・口腔体操について		
6月	緊急搬送（施設マニュアルの再確認）、食事介助について		
7月	緊急搬送（救急車の適正利用）について		
8月	感染症について		
9月	接遇・プライバシー保護・個人情報について		
10月	権利擁護・高齢者虐待・身体拘束について		
11月	おむつ交換について		
12月	褥瘡対策について		
1月	食中毒について		
2月	移乗動作・起居動作について		
3月	感染症について（標準予防について、手洗いの実践）		

有料老人ホーム 星の館

利用者 定員 97名

年間稼働率 85% (目標稼働率 100%)

平均介護度 4.19

1. サービス利用実績

(1) 月別利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用人数	104	96	96	92	94	93	92	93	91	95	97	99
入院者のべ日数	53	141	33	205	285	202	263	251	91	144	131	302
のべ利用日数	2681	2718	2617	2507	2405	2367	2297	2447	2611	2663	2590	2614
稼働率 (%)	92	90	89	83	79	81	76	84	86	88	95	86
入所	13	3	7	7	10	6	11	6	6	6	6	6
退所	11	7	10	8	8	12	4	7	2	4	4	10

(2) 利用者介護度

合計人数	104	96	96	92	94	93	92	93	91	95	97	99
要支援1												
要支援2												
要介護1										1	1	1
要介護2	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
要介護3	10	10	10	10	10	10	11	11	11	11	11	11
要介護4	43	40	40	38	40	39	39	40	39	42	41	42
要介護5	46	41	41	39	39	39	38	38	37	36	39	40
申請中												
平均介護度	4.25	4.21	4.21	4.2	4.2	4.2	4.22	4.22	4.21	4.11	4.14	4.15

2. 施設運営状況

- (1) 稼働率については、7月から9月にかけて訪問看護利用者の死亡退去、利用者の長期入院や検査入院の為、稼働率が低下している。
- (2) 運営推進会議については、平成30年1月と令和元年7月に開催されているが、その後はインフルエンザや新型コロナウイルスの発生等で館内への入室制限により、推進会議を開催するに至っていない。
- (3) 昨年は、内部研修や外部研修が低迷期であったことから、今年は職員の質向上の為に個人目標の設定を行い取り組んでいる。

- (4) 日々の業務においては、申し送り等を活用して、入所者の健康状態が一目で把握できるようにした。勤務前は、職員全員が申し送りに参加し、確実に引継ぎを実施し、情報共有を図っている。

3. 利用者支援状況

- (1) デイケア利用者については、派遣先のデイケアとの間で連絡帳を活用して、情報の共有化を図っている。
- (2) 身体拘束対象者はいないものの、夜間寝ないで徘徊する利用者については、その利用者の心情に配慮し、介護職員が絶えず声掛けをする等の会話を重ね支援している。
- (3) 感染症対策については、申し送り時の時間帯を利用して個々の事例毎の対処法を説明し職員一丸となって取り組んでいる。
- (4) 新型コロナウイルス発生にあたり、面会制限をしたことで家族の不安を払拭する為、利用者の健康状態を電話連絡する等の情報発信を行っている。
- (5) 行事計画したレクリエーションについては、インフルエンザの発生、新型コロナウイルス等で未だ開催には至っていない。

4. 行事・レクリエーション

	行事		行事
4月	誕生会	10月	誕生会
5月	誕生会	11月	誕生会
6月	誕生会	12月	誕生会
7月	誕生会	1月	誕生会
8月	誕生会	2月	誕生会
9月	誕生会	3月	誕生会

5. 職員研修

- (1) 職員の研修については、その都度事例を捉えて、質疑応答又は、記述式のレポートを求める等での向上を図っている。
- (2) 申し送り時に懸案事項等について、発表者をその都度指名して発表させ、事案の重要性の認識と発言力の向上を図っている。

	研修内容
4月	転倒事故防止について
5月	感染症対策について
6月	認知症について
7月	熱中症対策について
8月	防火訓練（蘇生・AED）
9月	安全管理

10月	高齢者虐待防止研修・抑制・拘束
11月	各種マニュアルについての勉強会
12月	各種事故発生時における初動対応について
1月	苦情解決セミナー
2月	自衛消防について（災害時の訓練）
3月	危機管理について